

凸凹お化け騒動 (1941)

HOLD THAT GHOST

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 86分

初公開日 1947/02/25

公開情報 セントラル

【解説】

ヴォードビルからラジオ漫才で売ったアボット&コストロの喜劇はあまり映画的な面白さはなく、応々にして子供向け。お化けネタで三本も作っている（本作と「凸凹幽霊屋敷」「凸凹フランケンシュタインの巻」）ことから判る通り、ジョン・ベルーシを思わすコストロの怯えの演技が売りで、芸の引き出しが余りになく、大体、他の作品も笑いのピークはそこに頼るのみで、大抵は見てすぐに忘れてしまう。お化けものが辛うじて記憶に残るのはそれがそのものズバリだから。なぜかギャングのボスの遺産相続に与かった二人組が、その大金が隠されている田舎の屋敷に赴くと、彼らを認めない子分どもが彼らを追い払おうと、屋敷をお化け館に仕立て、あれやこれやの手で脅かす。ロウソクが動き回っても気づくのはコストロだけ、それを聞かされたアボットには何も起こらない→怒る、の繰り返しギャグは、愛嬌いっぱいのコストロだから許せるというものの、そのキャラクターなくば、すぐにでも退屈してしまうだろう出来。戦時中大人気だったアンドリュー・シスターズが唄だけでなく顔も出して、時代色を感じさせるが、このユダヤの三姉妹の容色は決して作品の潤いになるものではない。

【クレジット】

監督	アーサー・ルービン	Arthur Lubin
原作	ロバート・リーズ	Robert Lees
	フレッド・リナルド	Fred Rinaldo
脚本	ロバート・リーズ	Robert Lees
	フレッド・リナルド	Fred Rinaldo
	ジョン・グラント	John Grant
撮影	エルウッド・バーベル	
	ジョセフ・ヴァレンティン	Joseph Valentine
音楽	ハンス・J・サルター	Hans J. Salter
出演	バッド・アボット	Bud Abbott
	ルー・コストロ	Lou Costello
	リチャード・カールソン	Richard Carlson
	ジョーン・デイヴィス	Joan Davis
	ミシャ・オウア	Mischa Auer
	イヴリン・アンカース	Evelyn Ankers
	マーク・ローレンス	Marc Lawrence
	シェンプ・ハワード	Shemp Howard
	テッド・ルイス	Ted Lewis